



2013年(平成25年)9月発行
第24号
発行元 福生市立中央図書館
福生市熊川850-1
TEL 042(553)3111
<http://www.lib.fussa.tokyo.jp>

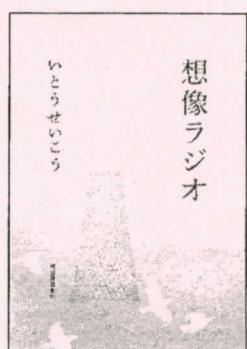
自分の道は...。(原)



オースティン・ボナー

★紹介されている本は図書館で読める！
※このコーナー

想像ラジオ



想像ラジオ
いとうせいこう／著 (萌)

深夜二時四十六分、「想像ラジオ」ON AIR！
パーソナリティは赤いヤツがトレードマークのDJアーク。厳選した洋楽を流し軽快なトークを進める中で、アークはラジオのチューニングを合わせるように少しずつ、失った記憶を思い出してゆく。

「いつからかこの国は死者を抱きしめていることが出来なくなった。」
こんなどうしようもない世界で、それでもまっすぐに生きて行こうとするあなたに必要な一冊。

第一四九回芥川賞候補作
第二六回三島由紀夫賞候補作



小説のだめカンタービレ
高里椎奈／著
二ノ宮知子／原作 衛藤 遼／脚本
講談社 (二〇〇六年)



風立ちぬ・美しい村
堀辰雄／著
新潮文庫 (一九七六年)

二ノ宮知子原作で、ドラマ化、映画化され大ヒットした音大漫画のノベライズ本。
桃々丘音楽大学に通う千秋真一は、独特ながら天才的な才能を持つ野田恵、通称「のだめ」と出会う。はじめはその破天荒な性格に振り回され頭を悩まされるが、彼女や彼女の周りの変わり者と過ごしていく内に千秋の心情や音楽に対しても変化が見えてきて...

ジブリで映画化された「風立ちぬ」の原作です。夏休みの課題図書として読んだ人もいるのではないのでしょうか？
「私」とその恋人・節子が高地のサナトリウムで暮らす中で、節子の闘病や「私」の思索を描いた作品です。高地の自然豊かな風景が鮮やかに描写されていて、想像力をかきたてられる文章がとても良いです。これからの残暑と秋、爽やかで切ない気分になりたい人におススメです。

ドラマを見ていない！原作を読んだことない！という方もすぐに読み上げてしまいたいような爽快感。笑い、そして音楽が詰まっています。日々の生活をバツと明るくしてくれるかも？

オーロラ写真集
天の衣・夜の破片
坂本昇久／著
大和書房 (一九九八年)



この作品は、オーロラを様々な角度から撮った写真集です。私が一番きれいだなあと思ったのが、celebration (祝祭)、dream (夢) です。でも、その他もきれいでした。季節ごとに違うオーロラも見られます。ぜひ見てみてください。



もういちど生まれる
朝井リョウ／著
幻冬舎 (二〇一一年)

「高校のとき教育実習に来てたヤツとあって、今のオレの二つ上だろ？むりむりむりむりむり」
十九歳は思っていたほど大人ではなくて、もちろん子どもでもない。成長しない自分にイライラしながら、かといって何かを悟ったふりをして諦めるには若すぎる。

大学やアルバイトの倦んだ毎日の中で起こる小さな出会い。それをきっかけに、見えていた限界を一步超える五人の連作短編集。
作家・朝井リョウは見えないところに仕舞っていた愛しさや切なさという感情にそっと触れて揺り動かします。

鏡のお城のミミ
カントン王国の大冒険
倉世春／著
水谷悠珠／イラスト
集英社コバルト文庫 (二〇〇三年)



マリア様がみてる
今野緒雪／著
ひびき玲音／イラスト
集英社コバルト文庫 (一九九八年)

「きげんよう」のあいさつからはじまるこの小説。私立リリアン女学園には純粋培養の乙女たちが集う。この学園の高等部には「姉妹(スール)」とよばれるシステムが存在していて、ロザリオの授受を行い「姉妹」となることを約束した先輩が後輩を指導する伝統がある。

目の手術をした小説家。手術後から幻覚を見るようになって、その幻覚が小説家の書いている小説「サイト」と奇妙なシンクロをしていく。はたしてそれは現実に起きていることなのか？
とっても面白いです。ぜひ読んでみてください。

サイト [sight/site]
倉阪鬼一郎／著
徳間書店 (二〇〇一年)



ある本を売って、旅先でまたその本と出逢う『旅する本』恋人と来るはずだった旅行に一人来てその部屋に一通の手紙に出逢う『手紙』同じ本の趣味を持つ恋人と別れることとなり、荷物の整理をして人を好きになることを考える『彼と私の本棚』おばあちゃんに頼まれた本を一生懸命探す『さがしもの』など本にまつわる9つの短編が入っています。短編でも読みやすいので、気になったものから読んでみてください。

さがしもの
角田光代／著
新潮文庫 (二〇〇八年)



『この本が、世界に存在すること』に改題。
【全国学校図書館協議会・集団読書テキスト】